



夢ひろ場

ゆめひろば

Vol.46

夢の原点

高校時代
忘れたくない



Kogakuin University High School of Alumni Association

工学院大学附属高等学校同窓会の皆様へのお得な会員プログラムのご案内です

団体コード
c0018

※ご予約の際は団体コードが必要です。

ご予約・お問合せは「癒湯自適倶楽部」WEBサイトへ

<https://www.hotespa.net/resort/campaign/yuyujiteki/>

会員登録をいただくと、**新プラン情報**や**宿の空き状況**をいち早くお届けいたします！

※会員登録の際、「会社名・団体名」の欄にご案内した団体コードをご入力ください。
料金などの詳細についてはWEBサイトでご確認ください。

※団体コードやプランについては下記までお問合せください。工学院大学附属高等学校同窓会(事務局) info@ga-kogakuin.jp



「癒湯自適プラン」ご利用の流れ

※会員登録の際、「会社名・団体名」欄に団体コードを全角でご登録ください。



WEBで
ご予約の場合



右上にある二次元バーコードを読み取り、癒湯自適プランWEBサイトで会員登録を行ってください。



ご希望のお宿をお選びいただき、空室状況をご確認の上、ご予約を行ってください。



ご予約が完了いたしましたら、ご予約確認メールがご登録いただいたメールアドレスに届きます。



ご予約いただいたお宿へお越しください。

※ご予約はお電話でも承っております。詳細はWEBサイトからご確認ください。

 **共立リゾート**

特典 1

共立リゾートが
通常料金より
平日を中心に
最大50%OFF※
でご利用できます。

※1ヶ月先までの直前予約、
室数限定です。

空室がない場合もございます。
ご了承くださいませ。



KYORITSU MEMBERS

癒湯自適倶楽部

ゆ〜 ゆ〜

入会費・年会費
無料

ラビスタ東京ベイ

特典 2

高齢者向け住宅『ドーマーシニア』に
ご入居時、商品券10万円分プレゼント

ドーマーシニアの
お問合せはこちら

0120-151-084

受付時間：平日 9:00 ~ 17:30
(土・日・祝日・年末年始はお休み)



特典 3

外食店舗の
お得な特典も
準備中



ごあいさつ



工学院大学校友会 附属高等学校同窓会
会長 岸 和浩 (1979年 普通科卒)

平素は同窓会活動にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。残念ながら現在もコロナウイルス禍は終息する気配がなく、2年にわたり本会や校友会の対面イベントが開催中止となっております。ウイルスに罹患、あるいは仕事で損失を受けた会員の皆様には心より御見舞申し上げます。

さて、私は40年以上前に母校生徒会で学院祭実行委員長を務めたことがあります。学院祭(現在の夢工祭)の前日、準備が続く校内を見回っていると自分の教室からエレキギターの響きとともに級友M君の歌声が聴こえてきました。

～こわれかかった真赤な車に乗って、

奴らが地獄の果てから舞い戻ってきた～

～昔はやった唄を歌えば、町中はお祭りさわぎ～

ロック系音楽に興味がなかった私ですが、その歌詞とメロディーだけは40年経っても耳の奥から離れません。何の曲? 誰の歌? 誰に聞いても、わからない。そこで、ガラケーからスマホへ買い替えた時に聞いてみました、Miss "OK Google" に。最初の1小節を口ずさむと、答え一発! それは「カーニバルがやってくるぞ」という曲名で、1971年に結成されたロックバンド「四人囃子」とのこと。私は一気に霧が晴れたような爽快感を得て、高価なスマホ代金を少し忘れることができました。

このような利便性の高いICT機器の数々を多くの方が日常的に活用しています。そのデメリットにも注意しつつ、本会ではコミュニケーションツールとしてホームページ、Facebook、LINEやZoomオンライン会議に活用しています。それらは多くのOB・OGが交流し歓談できる「ホームカミング・パーティー」や母校の夢工祭で集うスペース「おもいでCafé」のオフラインでの交流には及びませんが、本会会員の交流や情報提供に役立てるよう努力いたします。形に残る会報発行も継続いたしますので、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。

なお、民法改正によって本年4月から18歳以上が成人となりました。未成年で保護されていた部分がなくなり、悪質なビジネスの横行が懸念されます。新しく本会会員となった皆様。悪い誘いや危ない契約は「断わる勇氣」をもって、夢へと進むことを願っております。



工学院大学附属中学校・高等学校
校長 中野 由章

2021年度を振り返って

2021年4月に附属中学校・高等学校長として着任し、1年が経ちました。私が本校に着任する際、この学校に対するイメージは、非常にポテンシャルの高い学校だというものでした。生徒のみなさんや教職員のレベルの高さは想像通りで、単に入試偏差値や進学実績に表出するものだけでなく、大学進学後、あるいは就職後に大なる果実をつけるであろう、非常に深い探究力を育成できていることに敬服しました。同時に、その魅力を受験生やその保護者へきちんと伝えることや、学校全体のコミュニケーションを活性化することの必要性も感じました。私が率先垂範すべきだと考え、学校説明会等では、冒頭の校長挨拶を最小限の長さにとどめつつ、本校の1番の自慢は何と言っても生徒のみなさんであり、2番はそんな素晴らしい生徒にしっかり寄り添って伴走する教職員であること、そして、「最新の工学院が最高の工学院」であるために、常に改善を行なっている旨を伝えています。生徒や保護者のみなさんや教職員がいつでも気軽に校長とコミュニケーションできるよう、校長室はオープンドアポリシーとし、常に入口を開放しています。毎日たくさんの生徒が校長室へやってきていろんな話をしてくれます。私から助言することもあれば、生徒のみなさんから提案を受けることもあります。とにかく、いろんな人とコミュニケーションを重ねることこそが、この学校をよりよくするための最短かつ必須のことだと考えています。

2021年度を総括すると、「募集・広報の拡充」については、中高とも、志願者数を前年比50%増とすることができました。「K-STEAM教育の推進」については、高校の新カリキュラムを策定したほか、Cambridge International SchoolやMicrosoft Showcase Schoolに認定されたり、学習塾が勧める中高一貫校ランキング2021の「ICT教育に力を入れている中高一貫校」で1位*となったりするなど、高い外部評価を得ました。「大学/外部機関との連携」については、工学院大学との密な連携を進めた他、電気通信大学・東京薬科大学・麻布大学・東京経済大学・法政大学・APU・八王子市・住友商事などとの連携教育活動を実施しました。電気通信大学とは、クロスポイントメントにより、本校進路指導主任が電気通信大学アドミッションセンター特任准教授に就任するなど、強力な提携関係を構築しました。「進路指導実績」も、工学院大学へ71人、東京工業大学・北海道大学・東京医科歯科大学などの国公立大学へ14人、早慶上理ICUに33人、GMARCHに50人、海外大学へ12人など、素晴らしい成果を出してくれました。

2022年度は、この流れをさらに加速させていきたいと考えています。同窓会のみなさまには今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。 *大学通信 ONLINE 2022年2月4日

学校だより

～高等学校・中学校の近況～



高等学校だより



コロナ禍で 工夫する学び

副校長 島田 浩行

同窓会の皆様、毎年母校の為に色々ご理解とご協力・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。

昨年度もコロナ禍の中で、オンライン授業を行う時期がありました。本校はICTの活用に関しては高く評価されており、普段の授業と同じようにオンラインで授業を行いましたので進度が遅れることなく1年間の授業を終えることができました。グローバルプロジェクトやオリエンテーション合宿などの宿泊行事は全て中止、部活動も制限した時期もありました。このような中でも文化祭（夢工祭）と体育祭は色々工夫する形で実施し、生徒諸君は苦労したことも多かったと思いますが、本当に皆よく頑張りが盛り上げてくれました。文化祭はコロナ対策で模擬店は中止、入場者も大きく制限するなど、展示や文化部の活動の発表が中心となりました。体育祭も入場者の制限をしましたが、例年とほぼ変わらない内容で実施することができました。クラス対抗の大縄跳びや全員リレー、女子のダンスが盛り上がりました。

クラブ活動は色々コロナ対策をしながらも活動し、ほとんどの部が大会にも出場できました。その中でも、硬式野球部は夏の西東京大会ベスト32さらに秋季大会予選を突破し都大会に出場、サッカー部は新人戦で都大会出場。柔道部は都大会個人戦でベスト8と団体戦でベスト16。自動車部は鈴鹿ソーラーカーレースに出場し5時間耐久レースで見事完走、さらに「脱炭素チャレンジカップ」で



は最優秀脱炭素未来づくり賞を受賞。演劇部が私立中学高等学校演劇大会で特別賞を受賞。旅行研究同好会は鉄道模型コンテストに出場しベストクリエイティブ賞を受賞しました。クラブ活動以外では、全国国際教育研究大会の日本語弁論大会で外務大臣賞、ニューヨーク国連本部で開催される映像祭では最高賞である国連75周年特別賞、国際平和映像祭で準グランプリ、模擬国連会議でBest Delegate Award、情報モラルセキュリティコンクールで優秀賞を受賞するなど、多くの生徒が大活躍した年でした。その他にも中国文化交流会や、ロボカップアジアパシフィック愛知に出場、おもちゃコンテスト、写真展に出展し受賞した生徒もいました。

また、海外研修も実施できませんでしたが、オンラインでの交流が増え、国際的な私立学校連盟であるRound SquareからKing Constantine Medalを授与された生徒がいたり、海外とのオンラインによる様々な大会で活躍する生徒がいました。

この他にもたくさんご報告させていただきたいことがありますが、詳しくは本校のウェブページを是非ご覧ください。

この一年間生徒たちはこのような状況の中でも本当によく頑張りました。無事に一年を終えたことに対し、生徒たちに感謝したいと思います。今後もこのような状況がしばらく続くのかと思いますが、感染対策をしっかりと行い、楽しい学校生活が継続できるように頑張っていきたいと思っています。同窓会の皆様には今後ともぜひご理解とご協力・ご支援をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。





中学校だより



2021年度の中学生の 活躍を報告します

中学校教頭 奥津 栄介

日頃より、卒業生の皆様には、たくさんのご支援をいただき、誠にありがとうございます。今年の中学校入試では、昨年比で約 1.5 倍の出願があり、定員を超える入学生を迎えることになりました。2021 年度もコロナ禍の中で制限をしながらではありましたが、工夫をしながら様々な取り組みを行ったことも、受験生の皆様に評価されたのではないかと考えております。卒業生の皆さまの応援にも感謝をしつつ、今年度の活動の一部を報告いたします。

12 月には、いちょうホール（八王子市芸術文化会館）にて、合唱祭を実施しました。2004 年から毎年実施してきた合唱コンクールでしたが、新型コロナウイルス感染症が広がり始めた 2 年前、実施直前に中止し、昨年実施できず、今回も実施が危ぶまれていました。しかし、マスク着用での合唱や、時間短縮などの工夫を行うなどコンクール形式ではない形ではありましたが、何とか伝統をつなぐことができました。やはりクラスで心をひとつにして一所懸命に歌う生徒たちの姿には、たとえマスク越しでも変わりなく感動させられました。

9 月には、中学 1 年生が日本青年会議所の主催する第 50 回東京ブロック大会八王子大会「TOKYO HACHIOJI FESTA」に参加しました。日本遺産に認定された「霊気満山 高尾山」のストーリーに関連した“からくり装置”を制作し、それを撮影した VTR がイベントの中で放映されました。近隣小学校の児童たちが描いた絵と、本校生徒が制作した 8 つの装置が合わさったの出品となりました。この作品はその後約 1 か月間に渡り、桑都日本遺産センター八王子博物館（2021 年 6 月に八王子駅南口にオープン）

にも展示されました。生徒たちが試行錯誤して挑戦して創造したことが、地元八王子への貢献につながりました。実は、八王子青年会議所で活躍されている中高一貫生の卒業生の方からお声がけをいただき、このような貴重な機会を得ることができました。

一昨年度から中学 1 年生は、八王子プロジェクトとして、八王子市役所のご協力も得ながら近隣の染物や織物の企業、工業や畜産業の企業を訪問して取材をし、動画を制作して少しでも貢献につながる活動をしようという取り組みを実施しています。生徒たちは、普段何気なく通り過ぎていた小さな工場が、実は最先端の技術を持っていて、世界とつながっていることに気づきます。そして、それを映像やプレゼンテーションとして表現することで思考力や表現力が磨かれ、主体的な学びにつながっていると感じます。2 月には第 2 回「映像祭」を実施して、1 年間の成果の発表を行いました。もし、本校生徒が関わられるような企画などございましたら、ぜひお声かけいただければ幸いです。

まだまだ制限が必要な中で活動せざるを得ない状況は続きそうですが、生徒と教職員でアイデアを出し合い、様々な取り組みをしていきたいと考えています。卒業生の皆様、ぜひ、引き続き応援していただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。





自著「自動車工学概論」

高校で1967年4月から教鞭をとり、高校教頭職を長年務め2008年3月に退職された竹花有也先生（78歳）が2021年3月、技術書籍の老舗・オーム社から「自動車工学概論」の改訂版を刊行されました。1995年初版の同書を、2019年から奥様のご不幸やコロナ禍を乗り越えて2年がかりで出版とのこと。ご存じの通りクルマの技術進歩は目覚ましく、解説の中で最新技術を盛り込むのに大変なご労苦があったそうです。およそ25年の時を経て技術専門書の名門から改訂版のオファーをされたのは、他に同書を執筆できる方がおられなかったからと推察します。

竹花先生は他にも書籍出版に関わられたとのことで、ご紹介させていただきます。



自著「自動車工学概論」の軌跡

工学院大学附属中学・高等学校 元教諭 竹花 有也

「内燃機関工学入門」の出版

高校在職中の1991年4月、理工学社から機械工学入門シリーズの「内燃機関工学入門」を出版しました。高校は1992年4月、「工学院大学附属高等学校」と校名が変更され、同年9月には工業科4クラスを廃止して普通科高校へと転換しました。

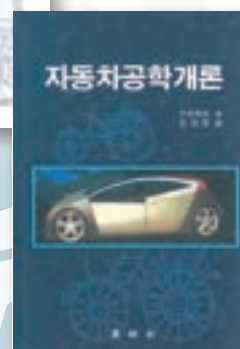
本書は2001年9月、単位系を重力系からSI系に切り替えて第2版として出版されました。



「自動車工学概論（第1版）」の出版

理工学社から1958年に村本進氏の著述で出版され、1967年に仲嶋正之氏によって改訂された「初学者のための自動車工学」を全面的に改稿し、1995年8月に「自動車工学概論」として出版しました。高校では1996年4月に中学校を開校し、中高一貫教育を目指して校名を「工学院大学附属中学・高等学校」とし、2002年に男女共学校になりました。

本書は2001年3月、韓国語に翻訳されて出版されました。なお、2008年3月に学校法人工学院大学を退職した後に学校法人から委嘱され、同年4月から「工学院大学・学園百二十五年史」の編纂に携わりました。



の軌跡 刊行にあたり

理工学社からオーム社へ移籍

出版元の理工学社が2013年7月に解散したために「内燃機関工学入門」は絶版となりましたが「自動車工学概論」の著作権はオーム社へ移籍され、2014年3月に第1刷16版として発行されました。



八王子から信州上田へ移住

2008年、私の退職を待つように妻が発病しました。それから1年半ほど八王子で介護を続けましたが妻の病状が悪化したため、「工学院大学・学園百二十五年史」の編纂委員は退職していた柴田芳政先生（美術科）へ委ね、姉妹の助けを借りて妻の介護に専念するため、2009年9月に郷里上田へ転居しました。同書は2012年10月に無事刊行されています。



「自動車工学概論（第2刷）」の出版

2018年10月にオーム社から「自動車工学概論」の改訂版（第2版）の依頼があり執筆の準備にかりましたが、2019年3月に療養中の妻が他界して作業を中断しました。気を取り直して2019年10月から作業を再開したものの、2020年に入りオーム社の都合で再び中断せざるを得なくなりました。

その後2020年10月から作業を再開し、ハードな執筆スケジュールながらオーム社の全面的な支援を受けて2021年3月、第2版の刊行に至りました。



同窓生の皆さんへ

退職後、中学校・高校や同窓会のお役に立てず、申し訳ない思いです。しかし、足かけ10年に亘り妻の介護に専念してきたことでお許しいただければ願っています。お蔭様で今は、のんびりゆっくり日々を送っております。

今回、このように寄稿の機会を与えていただいたことを感謝しております。

最後になりますが、同窓生各位のご健勝と中高の益々のご発展を心より祈っております。どうぞ皆様、お元気で。

(2022年1月、信州上田にて)



教え子である島田副校長と

郷野 翔太郎
(2021年 普通科卒)



90!

ソーラーカーレース 鈴鹿を追って

2021年7月30日・31日の2日間、三重県鈴鹿市にある鈴鹿サーキット国際レーシングコースにて開催された『ソーラーカーレース鈴鹿2021』に高校自動車部が初めて参加しました。このソーラーカーレースへの参加は、工学院大学ソーラーチームの協力によって実現したプロジェクトです。世界大会準優勝の経験を持つ大学ソーラーチームを率いる濱根洋人監督の技術指導の下、プロジェクトは2020年7月からスタート。約1年かけて課題を一つずつクリアし、大会参加に漕ぎ着けました。これまでガソリン車を活動の軸としてきた自動車部にとって、ソーラーカーに関する経験も知識も無く、まさしく未知の領域です。今回お届けする下手な写真と文章では彼らの挑戦のごく一部すらちゃんと伝わるか怪しいですが、皆様にお伝えできればと思います。

大会に向かったのは、部から選抜されたドライバー3名とチームクルー7名の計10名。自動車部顧問の島田先生（集合写真右端）と大学工学部機械システム工学科教授で、ソーラーチームの濱根監督（集合写真左端）が彼らをサポートします。車両は大学ソーラーチームが2013年に製作した『Practice』という車両。長らく静態保存されていましたが、この大会に合わせてレストアが行われました。



ドライバーを務めた3名。

写真右は高校2年の落合くん。カートレースの知識と経験を活か

し、ファーストドライバー及びスタートドライバー、最終ドライバーを務めます。写真中央は高校3年の四條さん。自動車部部長。車両に優しいドライビングを活かしてサードドライバーを務めます。写真左は高校3年の中村くん。メカニックとして車両を最もよく知っている一人。セカンドドライバーを務めます。

朝5時半に大会会場近くのホテルを出発。会場に到着次第、急ピッチでピットの設営が進みます。余談ですが、この車両、競技



車両ですから内部はスパルタンそのものです。大会当日は真夏日。エアコンは勿論、通気口すらないこの車両で走り続けるドライバーの過酷さは想像を絶します。

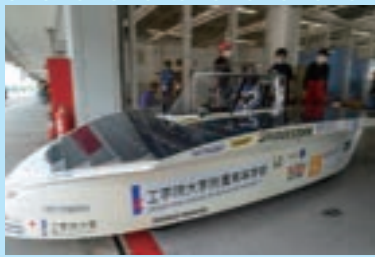


些細なミスが大きな事故に繋がる危険性を持っているのがモータースポーツです。事故を起こさないためにも事前ミーティングを入念に行います。

レースに向けて車両の確認が進みます。



全ての確認が終わり、スタートグリッドへ向かいます。ただでさえ慌ただしかったピットが嘘のように静かになります。



正午にレーススタート。自動車部は5時間耐久部門に参加します。1時間半ごとにドライバー交代を行いながら、5時間の間により多くのコース周回を目指します。高校2年の落合ドライバー、抜群のスタートを決め、上位集団に喰らいつきます。

ドライバー交代のためにピットイン。落合ドライバーから中村ドライバーへ交代します。停車時間を最小限に抑えるため、ドライバー交代は急いで行います。その間に車両の目視を行い、走行による損傷がないか確認します。



スタート後は各チーム、完走と高順位を狙うためにそれぞれのペースで走行を続けます。トラブルでリタイアするチームもあるなか、自動車部は車両剛性の高さを活かし、直線区間では時速100キロメートルに迫る攻めの走り続けます。

中村ドライバーから四條ドライバーへと交代。各ドライバーにはそれぞれ発泡スチロール製の座席とウォーターパックが用意されています。交代の際は座席の交換やウォーターパックの固定などの作業があるため、一筋縄ではいきません。



走行中はピットではメンバーが一丸となって無線越しにドライバーを支えます。また、車両から送られてくるデータの確認、作戦の検討、ドライバーへの作戦指示もピットメンバーの大事な役割です。



既に1時間半の走行をこなしている落合ドライバー。どんなにチーム全体でここまで走ってきたとしても、結果として残る順位は全て最終ドライバーのパフォーマンスに掛かっています。



最終ドライバーという役割が重責であることは想像に難くありません。

7月31日 17:05.
総合12位・クラス
5位・完走でゴール。



大会初出場にして、完走。更にはクラス5位、総合12位。社会人チームが多く参加するこの大会で学生チームがこれだけの成績を残せることは素晴らしいことです。

パンデミックの影響を直に受けてもおお挑戦し続けてきた彼らにとって、このようなイベントを無事に終えられたことは、非常に意味のあることだったと思います。先行きが見えない中でも屈することなく、できることをコツコツ続けることで挑戦をやめない彼らの姿勢。それがこの結果に繋がったのではないかと考えています。

この時、高校3年だった部員も、この4月で大学に進学。それぞれが思い描く将来へ突き進んでいくでしょう。実は、3年生の一部は工学院大学ソーラーチームに入る予定なんだとか。彼らの今後の活躍に乞うご期待です！



早稲田大学国際文学館に (村上春樹ライブラリー) 行ってみた

古畑 翔大 (2020年 普通科卒)

私は中学・高校の6年間、工学院にお世話になり、大学校舎を含め色々な施設を利用しましたが、一番印象に残っているのは図書館です。Fab スペース^{*1}や新2号館^{*2}などの近未来的な感じと、いつまでも滞在できるようなゆったりした雰囲気が好きでした。しかし今回は、私の進学した大学に母校に負けなくらい魅力的な図書館ができたので紹介します。「村上春樹ライブラリー」です。

まず特筆すべきはそのデザインです。滑らかな曲面の先には天井まで高く伸びる本棚が聳え立ち、村上がインスピレーションを受けた作品を手に取り中央の階段に座って没頭することができます。他にも、村上作品が自由に読めたり、実際に演劇で使われたネオンの惑星があったりしますが、村上文学の授業を一度受講した程度の浅薄な知識しかない私には売店のドーナツが300円だったことの方が衝撃的でした。がしかし“ハルキスト”でなくとも満足できること間違いなし。

基本的に入館は完全予約制ですが、早大生は昼間1時間の間、予約無しで優先入館できるというので、率直に書くと村上作品にはあまり興味が無い私ですが、対面授業がある時たまに行きます。館内を歩いていたら、ふっと代数の課題の解法が浮かんだ、なんてことがあるのが数学徒です。

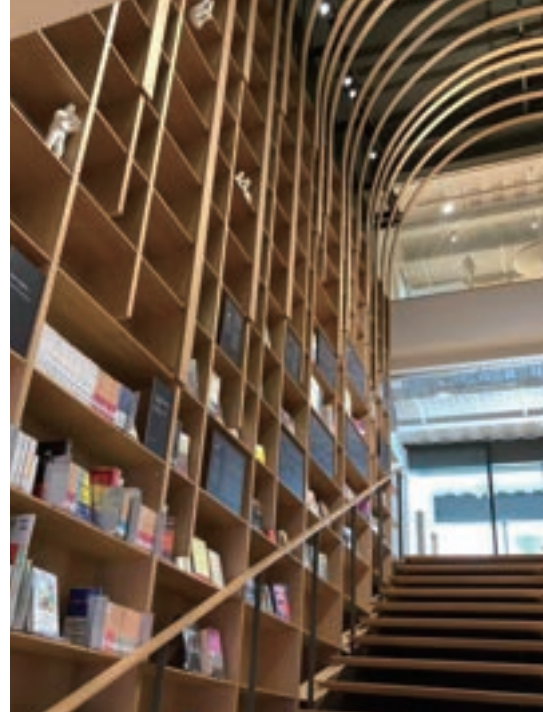
皆さんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

※1 2018年4月、有山裕美子・元司書教諭の発案により高校図書館内に取り入れられた、3Dプリンターや可動式ボードなどを駆使して学びのアウトプットを体現させる空間のこと。

参考:工学院大学附属高等学校ホームページ(<https://www.js.kogakuin.ac.jp/schoollife/fabspace.html>)

※2 2017年3月、八王子キャンパスに竣工した工学院大学の新校舎のこと。2階のInformation Floor、4階のLearning Floor(大学図書館)は工学院大生だけでなく附属中高生も利用できる。

参考:工学院大学ホームページ(<https://www.kogakuin.ac.jp/campus/lc8.html>)

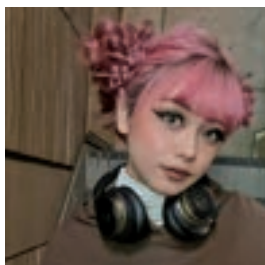


「もっと影響力のある人になりたい」

進藤 沙織 (2021年 普通科卒)

そう思い始めたのは高校3年の春、5月の事です。世界が新型コロナウイルスの影響により生活が苦しくなり、各地でパンデミックが多発したこの時期に私は受験のことで頭がいっぱいでした。同月25日、米ミネソタ州で1人の黒人男性が白人警官に首を膝で抑えられ死亡した事件が起きました。この事件の裁判を機にアメリカ各地や世界で人種差別や警察の暴力に対する抗議運動がより活発化し、中にはデモを装った強盗事件も毎日のように報道されていましたが日本のメディアでは取り上げられず、違和感を覚えました。人種差別問題に人類が向き合う上で、私たち日本人も学び考え、そして根絶していかななくてはなりません。ですが、当時このBlack lives matter(黒人に対する暴力と社会システム全体に広がる人種差別の根絶を訴える人権運動)を認知している人は自身の周りにも少なく、毎日グローバリズムや国際問題について討論している自分達でも知識が足りないという事に気付かされました。そして一番驚いたのは、若者たちが無関心なのではなく情報を得るための手段を分かっていたいなかったという事です。一般人の自分がSNSを通じて情報を拡散しても限界がある。インフルエンサーに頼めばもっと知ってもらえるかもしれない。そう思った私は片っ端からDMを送り続けましたが、誰1人と返信は来ませんでした。そこで私は自分自身がインフルエンサーになり、若者が社会問題について知るきっかけになった方が早いのではないかと考え、SNSでの活動に力を入れ始めました。今では私自身のゴールを共に目指してくれる事務所にも出会うことができ、私から情報を得て学んでくださるフォロワーの方々にも恵まれました。フォロワー数をあの日の800人から5万人までこの一年で増やしましたが、まだまだなのでこれからも頑張っていきます。

ぜひ Instagram @saaao_gram123 TikTok @saaao_gram123 をフォローしていただけると嬉しいです。



ともに母校を 応援します！

工学院大学校友会西東京支部
支部長 内野 正之
(1975年 普通科卒)



～工学院大学校友会西東京支部～

校友会西東京支部は校友会活動を行うとともに、高校に一番近い校友会組織として附属高校同窓会との連携を図ってきました。今年度、高校の支援事業として当支部が行ったイベントを紹介します。

1 高尾山薬王院での硬式野球部必勝祈願

大学八王子キャンパスが本拠地の学生プロジェクト4団体とともに附属高校硬式野球部の必勝を祈願して2020年7月8日、日本遺産に登録された「霊気満山」高尾山薬王院本堂にて僧侶7名による祈祷を行いました。高校生部員が持てる力を出し切り、悔いのない試合となるよう願った次第です。護摩札は翌日、島田副校長と硬式野球部・雨宮監督へお届けし、「試合当日、ベンチにお祀りします」と大変喜んでいただきました。



2 硬式野球部、試合会場での応援

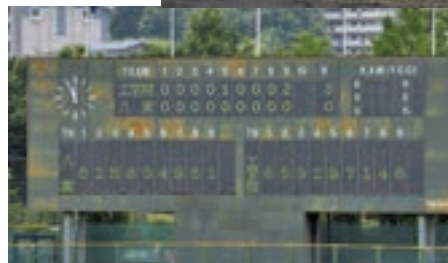
当支部顧問・小林保男さんを団長に応援団を結成。2021年7月11日の2回戦(八王子実践高)、7月16日の3回戦(早稲田高等学院)、7月21日の4回戦(明治大学明治高)と硬式野球部の応援観戦を行いました。試合会場へはコロナ対策に配慮しつつ、田野邊校友会長をはじめ当支部員他、附属高校同窓会員も多数参集しました。4回戦は3対4で惜しくも敗退しましたが応援一同、高校生の躍動と応援の手応えを感じ取ることができました。



3 講演会の開催

2021年12月4日、京王線北野駅前の八王子市北野市民センターにて講演会「ヒマラヤから砂漠へ、難民の土地～写真家、母としての挑戦～」を開催しました。講演者の小松由佳さん(秋田市出身、八王子市在住)は登山家・フォトグラファーとして活躍し、テレビやラジオにも出演する著名な女性です。

当初、このイベントは9月下旬に中学・高校の文化祭である「夢工祭」で開催する企画でしたが、コロナ禍の影響でやむなく断念し、度重なる延期を経て実現に至りました。当日は校友会本部・支部の方々や附属高校同窓会から岸会長が参加。小松さんの講演はエベレスト登山や死亡率26%という過酷なK2(カラコルム2号)登頂体験などを映像とともに語り、ぜひ高校生や多くの同窓生にも聴いてほしい内容でした。



このたび、同窓会のご支援により、大型ベースアンプを購入させていただきました。コロナ禍の中でライブを行うのが困難な状態ですが、ライブにおいて低音楽器はスピーカーの性能とアンプの出力がものを言いますので、必要にして十分な音を出せるものを導入することができました。安価で出力の小さいものでも音は出ますし練習は可能ですが、大型のものは機能も多く、大きい音を無理なく出す事に加え、音を細かく調整できるという利点もあります。

本年度は久しぶりに東京都大会の予選を勝ち抜いて決勝の大きなステージに立つことができましたが、その会場でもベースアンプはかなり大きいものを使用しています。



※この写真は本年度／本校のものではありません。ベースアンプの大きさの参考画像です



前景と入力部。真空管プリアンプとトランジスタプリアンプの音を混合して入力することができます。



左は音の微調整をする部分です。グラフィックコライザーで低音から高音までの細かい調整ができます。また、ローパス、ハイパスフィルターで音を大まかに変えることもできます。右は全体の出力調整（マスターボリューム）と電源です。



後景です。専用のケーブルでつなぎ、上部のアンプで作った音をスピーカーに伝えます。右の図はエフェクトループ（外部で音を更に変えるエフェクターをつなぐ部分）と、ダイレクトアウト（増幅せずにPAミキサーに音の信号のみ出力する部分）です。大きなステージでは、アンプの音だけでなくミキサーから更に大きな増幅をした音を客席に向けて出力します。この出力端子があるのは実は大きなメリットになります。

校内、特にアトリウムのような音が逃げるステージでライブをする際は高出力なこのアンプは最適です。またこのアンプを普段の活動で使うことで、大会の大きなステージで良い音を出すための音作りや、その音をすぐに再現するための練習をすることができます。来年度の都大会に向けて大いに使用させていただきたいと思います。

軽音楽部顧問 谷山 聡、新海 龍一

日頃より工学院大学附属中学校高等学校、そして硬式野球部へのご協力とご声援ありがとうございます。今年度の選手権大会西東京大会もコロナウイルスが収束しない中、制限はありましたが、たくさんの方に応援していただきました。校友会・同窓会にもバックアッ



プをしていただき、部員たちも苦労なく試合会場まで足を運ぶことが出来ました。感謝申し上げます。大会ではベスト32と昨年の結果は越えられなかったものの、緊迫した投手戦を中心に試合を繰り広げました。僅差での敗退となりましたが、今後もさらなる飛躍に向けて練習を積み重ねていきます。引き続き、硬式野球部の応援をよろしくお願い致します。

硬式野球部監督

2002年度附属高等学校卒業 雨宮 啓太

第103回全国高等学校野球選手権大会 西東京大会				
2回戦	対	八王子実践	3-0	○
3回戦	対	早大学院	4-3	○
4回戦	対	明大明治	3-4	●



同窓会の力をお借りして大型スポーツタイマーを久しぶりに新調させていただきました！

水泳部の活動のモットーは、楽しみながらもトレーニングになる有意義な時間を過ごすことであり、日々の練習内容は自分達で考え実践していくべきであるというスタンスを貫いてきました。たくさんの歴代の卒業生が発案してきた練習メニューやランニングコース（陸トレ時）が脈々と受け継がれて日々の活動が成り立っています。今年度は卒業生で水泳連盟への関わりも深い大谷亘先生（英語科非常勤講師）のお力添えもあり、コロナ禍でも大変



スムーズな運営が実現できたと振り返っております。

工学院の水泳部には“水泳が好きで体力維持や楽しい時間を過ごしたい部員”から“スイミングスクールにも通い本格的な公式大会への出場と好成績を目指す体育会系の猛者の部員”まで様々な部員が在籍しています（いました）。フィンスイミングでは世界大会にまで出場を果たしたOB,OGもありました。そして中1から高3までの世代を越えたメンバーが共に練習することが工学院の水泳部の大きな特徴でもあります。もちろん体力的にまだ発展途上の中学生は高校生よりもメニューをこなすことが遅れることもありますが、高校生が自然に気遣いしサポートする雰囲気がお陰さまで醸成されています。中高の隔てのないコミュニケーションが自然に成り立っていることは我々水泳部の誇りでもあります。

ところで、夏季のプール練習の際に以前から気になっていたのが10年以上は経年しサビが目立っていた大型タイマーでした。毎日プー

ルサイドに置いて使用するのですが、部費では購入がなかなか難しい高価なものです。今回同窓会のお力添えを頂き新調することができました。

コロナ禍でなかなか正常な活動ができない状況ではありますが、この2022年の夏季には新調したタイマーを使用し気持ち新たに練習に励むことができることと思います。今回の同窓会のご支援に感謝申し上げます。

今後も引き続き工学院の水泳部の活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

水泳部顧問 金井 健太郎、三浦 浩臣



2021年5月8日土曜日、感染対策をしっかりと意識してプール掃除を行いました。大切に使用させていただきます。

新会員の皆さんへ

ご卒業おめでとうございます! そして、同窓会へようこそ!



卒業生が集い、情報交換するための各種イベントを運営しています。

クラブ活動援助

今年度は4つ以上のクラブ活動に助成を行いました。助成内容は

- ①地区大会へ出場する
交通・輸送費（硬式野球部）
 - ②記録用タイマー（水泳部）
 - ③大型ベースアンプ
（軽音楽部）
 - ④ワイヤレス自動測定器
（複数の運動部で共用）です。
- 詳細は p.10 の活動助成報告をご覧ください。

卒業記念品、 同窓会クラブ賞の贈呈

例年、卒業式には卒業生に対して卒業記念品を贈呈しております。今年度は本会名入りの高級ボールペンを贈りました。また、各クラブ活動の代表者には同窓会クラブ賞（図書カード）を贈りました。



「夢広場」ダイジェスト版の配付

新しく同窓会員となる卒業生へお祝いの言葉と本会の活動内容を伝えるため、同窓会報「夢広場」ダイジェスト版（A4 判両面カラー）を3月3日の卒業式で配付いたしました。



コロナウイルス禍の行事・イベントへの影響

長引くコロナウイルスの影響により、2021 年度も本会および校友会の行事・イベントが中止あるいはオンライン開催となりました。ホームカミング・パーティー（5月、中止）、社員総会・同窓会報告会・意見交換会（5月30日、オンライン開催）、おもいで Café（9月、中止）、ホームカミング・デー（12月18日、オンライン開催）、新春の集い（今年1月、中止）など対面イベントが開催できず、誠に残念でなりません。

このような状況下ですが、本会と連携協力する校友会西東京支部が高校野球西東京大会において硬式野球部の応援・激励を行いました。また、同会は12月4日に講演会を開催し、本会会員も受講することができました。詳細は p.9 をご覧ください。

ウイルス禍はいまだ収束の見込みがありません。今年度のホームカミング・パーティーなど、4月以降の行事・イベント等につきましては本会ホームページにてお知らせいたします。 <https://ga-kogakuin.jp/>

本誌「夢広場」OB・OG 寄稿文、会報編集委員

募集 しています!

社会で活躍するOB・OGの皆さん。同窓生との交流やご自身の仕事、趣味などを寄稿しませんか?こんなスゴイOB・OGがいる!という情報もぜひ、お寄せください。

★高校同窓会 会報編集部★
(校友会事務局内)

電話 03-3342-2064 FAX03-3342-2035

私たちといっしょにこの会報を作りませんか?話題づくりのアイデアを出したり原稿や写真をあつめたり。月に1〜2回位の集まりです。

※編集会議の時間はおおよそ10月から翌年3月上旬、主に八王子近郊で行います

※寄稿文が多数寄せられた際は次号に掲載する場合がありますのでご了承ください

工学院大学附属高等学校同窓会の最新情報は

ホームページ・公式 Facebook・公式 LINE @で今すぐチェック!

公式ホームページ

公式 Facebook

公式 LINE @



夢工報 お知らせ掲示板

2021年度維持振興基金

募金者名簿

※この度はご協力いただき、誠にありがとうございました。

三宅 捷夫	五十嵐 隆英	笠原 又一	滝島 正之	内野 正之
豊泉 博	五十嵐 功	宮内 保幸	星野 明	青木 喜代司
石毛 信二	熊川 輝之	塚本 和秀	黒米 富雄	関口 一平
石渡 秀夫	篠 欣克	仲田 慶治	鈴木 肇	今村 聡輔
金子 友治	堀田 猛	高橋 康治	岡田 正隆	鄭 雄飛
若林 勝司	小口 俊明	岡安 彰	新海 昌美	(敬称略、順不同)
大川 愉子	岸 和浩	千原 隆	渡辺 陸	
太田 正利	根本 瑠璃	大澤 有正	有岡 光男	
梶山 昇	中里 利男	本野 裕二郎	當 間 裕和	

○皆様からいただいた寄付金の積立て金額は会計報告の決算書(特別勘定)に記載しておりますので確認願います

○ゆうちょ銀行から届く振替払込票の印字が読み取れない場合があります。万が一、お名前が間違っておりました際は次号にて訂正いたしますのでご一報願います

○会計監査の関係上、年度内の募金は3月15日で区切らせていただきました。3月16日以降は次年度の募金扱いとなりますことをご了承願います

会計報告

一般社団法人工学院大学校友会 附属高等学校同窓会

2021年度 決算書

2021年4月1日～2022年3月31日

2022年度 予算書

2022年4月1日～2023年3月31日

2021年度 決算書
一般社団法人工学院大学校友会 附属高等学校同窓会
2021年4月1日～2022年3月31日

収入の部	科目	予算	決算	備考
収入の部	会費収入	2,780,000	2,300,000	2021年度3年次該当者(231名)
	広告収入	0	0	なし
	懇親会参加費	0	0	なし
	雑収入	0	22	利息
	企画収入	40,000	0	おもいでCafe(コナラ館で中止)
	前期繰越金	1,720,645	1,720,645	口座¥1,720,645、現金¥0.781
合計		4,520,645	4,020,667	

支出の部	科目	予算	決算	備考
事業費	生活援助費	3,480,000	2,408,235	同窓会クラブ費、卒業記念品
	活動助成費	900,000	879,293	クラブ活動に対する助成(サテライト/エリター育成委員会への助成も含まれる)
	OB・OG会費助成	1,000,000	981,834	OB・OG会費助成
	会報出版費	180,000	0	なし
	会報郵送料	600,000	481,890	45号未配、46号ダイジェスト版
	特別事業費①	180,000	15,268	会報、社会案内送付、作業費、等、校友会へ支払
	特別事業費②	400,000	100,110	工学院大学附属中学校・高等学校教務部同窓会連合会へ寄付
	特別事業費③	400,000	0	ホームカミングパーティー、おもいでCafe(コナラ館で中止)
	寄付	380,000	0	全国大会参加費補助(コナラ館で中止)
	雑費	40,000	0	おもいでCafe(コナラ館で中止)
管理費	総会費	370,000	162,756	
	総会費	30,000	0	
	会議費	180,000	22,130	Zoom利用料
	通信費	180,000	19,892	NTTファイナンス、スカイラインネット、案内状発送
	交通費	30,000	34,294	
	雑費	80,000	28,500	保管費、雑費
雑費	消耗品費	20,000	0	
	雑費	50,000	0	
支出合計		3,890,000	2,570,881	事業費+管理費+雑費
前期繰越金		180,645	1,509,816	口座¥1,890,881、現金¥38,695、3月31日
合計		4,120,645	4,080,697	

監査の結果、帳簿などに上を記載せず 2022年3月31日

同安 彰
佐藤 勝

特別勘定

	収入	支出
前期繰越金	8,549,414	
積立金	0	
寄付金	230,218	2021年度維持振興基金¥230,218
利息	83	利息
現金の移動	0	
取引金	0	
合計	8,779,715	0
前期繰越金	8,779,715	繰高¥8,779,715

2022年度 予算書
一般社団法人工学院大学校友会 附属高等学校同窓会
2022年4月1日～2023年3月31日

収入の部	科目	予算	備考
収入の部	会費収入	2,710,000	2021年度3年次該当者(231名)
	懇親会参加費	0	なし
	雑収入	20	利息
	企画収入	40,000	おもいでCafe
	前期繰越金	1,509,816	口座¥1,480,881、現金¥28,695
	合計	4,259,836	

支出の部	科目	予算	備考
事業費	生活援助費	3,890,000	同窓会クラブ費、卒業記念品(271名)
	活動助成費	900,000	クラブ活動などに対する助成
	OB・OG会費助成	100,000	クラス会、同窓会開催への補助
	会報出版費	550,000	会報の本誌(第46号)、次期のダイジェスト版(第47号)
	会報郵送料	290,000	会報、社会案内送付、作業費、等、校友会へ支払
	特別事業費①	200,000	校友会西東京支部との連携企画(様式野球場の応援等)
	特別事業費②	400,000	ホームカミングパーティー、おもいでCafe運営費
	特別事業費③	200,000	全国大会参加費補助
	寄付	40,000	おもいでCafe売上金を生徒会へ寄付
	雑費	320,000	
管理費	総会費	20,000	支部総会参加等
	会議費	180,000	役員会、会報編集会議等
	通信費	180,000	スカイラインネット、Zoom利用料
	交通費	30,000	支部総会参加等交通費
	雑費	50,000	会員謝礼、祝賀、香典、供花
	消耗品費	20,000	同窓会賞品各種
雑費		50,000	
支出合計		4,060,000	事業費+管理費+雑費
前期繰越金		180,696	
合計		4,259,696	

特別勘定予算

	収入	支出
前期繰越金	8,779,715	
積立金	0	
寄付金	300,000	2022年度維持振興基金
利息	50	
現金の移動	0	→前年度から
取引金	0	
合計	9,079,765	0

「クラス委員」選任のお知らせ

本会ではホームカミング・パーティーの企画や同窓会報の編集などに協力していただくメンバーとして、卒業生から各クラスの代表「クラス委員」を選任しています。

2022年3月卒業生の中からは右記のメンバーが加わりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

クラス	名前
1組	関矢 祥二郎
2組	四 條 鈴 華 磯 本 惣 太 郎
3組	加 藤 大 空 上 村 彩 華
4組	原 島 千 尋 松 本 健 甫

クラス	名前
5組	島 田 慈 安 上 條 ス テ イ シ ー
6組	三 好 大 地 黒 田 樹
7組	清 水 大 輔
8組	銭 シ ョ ウ 卉 羅 一 鳴

※敬称略、順不同

同窓会役員名簿

任期（高校同窓会役員）：2021年4月1日～2023年3月31日

任期（代議員）：2019年2月1日～2023年1月31日（4年間）

2021年4月より下記の通り、役員を選出いたしました。今後とも皆様方より温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

役 職	卒業年	氏 名	校友会代議員	校友会役職
会 長	1979	岸 和 浩		
副 会 長	1979	島 田 浩 行	○	
副 会 長	2007	田 中 元 樹	○	
会 計	1995	白 滝 聡	○	
会 計	2002	雨 宮 啓 太	○	
幹 事	1967	豊 田 純 一	○	
幹 事	1975	内 野 正 之	○	
幹 事	1977	小 口 俊 明		
幹 事	1979	佐 保 田 一 幸		
幹 事	1979	池 田 尚		
幹 事	1981	小 川 隆	○	理事
幹 事	1987	内 野 真 治		
幹 事	2005	光 畑 和 則		
幹 事	2007	有 賀 雅 雪		

役 職	卒業年	氏 名	校友会代議員	校友会役職
幹 事	2008	広 田 慶 孝	○	
幹 事	2008	小 川 友 里 加	○	
幹 事	2009	荒 井 翔 平		
幹 事	2009	山 本 進	○	
幹 事	2014	小 川 奨 太		
会計監査	1973	佐 藤 勝		
会計監査	1975	岡 安 彰	○	
顧 問	1957	石 渡 秀 夫		
顧 問	1961	五 十 嵐 功		選挙管理委員
顧 問	1961	三 宅 捷 夫		
参 与	1963	鄭 雄 飛	○	
参 与	1968	若 林 勝 司	○	
参 与	1973	太 田 正 利	○	

氏名称略・順不同 校友会代議員は校友会員全体から選挙による選任
校友会理事は代議員による互選

事業報告・事業計画

同窓会活動における2021年度事業報告、2022年度事業計画は以下の通りです。

【2021年度事業報告】

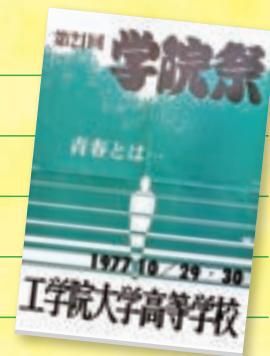
1. 生徒奨励
卒業記念品贈呈／優秀生徒表彰(同窓会クラブ賞)
2. 学園への援助
3. 生徒の諸活動への助成
クラブ活動／生徒会活動／その他諸活動
4. OB・OG会への支援 ※案件なし
5. 広報ツールの拡充
会報45号(本冊)、46号(ダイジェスト版)の発行
SNSによる情報発信／ホームページの更新
6. クラス・クラブ委員制度の拡充 ※ウイルス禍により停滞
7. ホームカミングパーティー企画の拡充 ※ウイルス禍により中止
8. おもいでCafé企画の拡充 ※ウイルス禍により夢工祭へ不参加
9. 同窓会意見交換会の開催 ※ウイルス禍により中止
10. ホームカミングデーへの協力、参加 ※オンライン開催
11. 校友会活動への協力、参加

【2022年度事業計画】

1. 生徒奨励
卒業記念品贈呈／優秀生徒表彰(同窓会クラブ賞)
2. 学園への援助
3. 生徒の諸活動への助成
クラブ活動／生徒会活動／その他諸活動
4. OB・OG会への支援
5. 広報ツールの拡充
会報46号(本冊)、47号(ダイジェスト版)の発行
SNSによる情報発信／ホームページの更新
6. クラス・クラブ委員制度の拡充
7. ホームカミングパーティー企画の拡充
8. おもいでCafé企画の拡充
9. 同窓会意見交換会の開催
10. ホームカミングデーへの協力、参加
11. 校友会活動への協力、参加
校友会西東京支部との企画連携
12. オンライン環境の活用
Zoomによるオンライン会議の開催

Index

巻頭 TOPICS	会員限定「癒湯自適倶楽部」のご案内
P. 1 ごあいさつ	同窓会会長、中学校・高等学校校長
P. 2 学校だより	高等学校・中学校の近況
P. 4 特別寄稿	自著「自動車工学概論」の軌跡
P. 6 OB・OG 寄稿	ソーラーカーレース鈴鹿を追って
P. 8 OB・OG 寄稿	早稲田大学国際文学館に行ってみた／もっと影響力のある人になりたい
P. 9 校友会との連携報告	ともに母校を応援します！
P.10 活動助成報告	軽音楽部／硬式野球部／水泳部
P.11 援助活動報告 その他報告	クラブ活動援助／卒業記念品、同窓会クラブ賞の贈呈 「夢広場」ダイジェスト版の配付 コロナウイルス禍による行事・イベントの中止 OB・OG寄稿文、会報編集委員の募集
P.12 夢工報 (おしらせ掲示板)	維持振興基金募金者名簿／2021年度決算書、2022年度予算書 「クラス委員」選任のお知らせ／同窓会役員名簿 2021年度活動報告・2022年度活動計画



Editor



編集長

山本 進
2009年 普通科卒



岸 和浩
1979年 普通科卒



新海 龍一
2014年 普通科卒



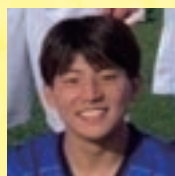
古畑 翔大
2020年 普通科卒



白滝 聡
1995年 普通科卒



桑野 拓也
2016年 普通科卒



仲野 想太郎
2021年 普通科卒



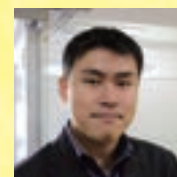
田中 元樹
2007年 普通科卒



星 彩水
2017年 普通科卒



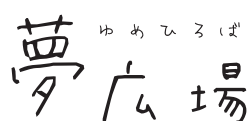
郷野 翔太郎
2021年 普通科卒



荒井 翔平
2009年 普通科卒



鈴木 初香
2018年 普通科卒



会報「夢広場」第46号 発行日：2022年4月1日 発行人：岸 和浩
事務局：〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2 工学院大学校友会事務局
電話：03-3342-2064 FAX：03-3342-2035 メール：info@ga-kogakuin.jp
一般社団法人工学院大学校友会 附属高等学校同窓会